

林業デジタル・イノベーション総合対策（拡充）

(令和6年度補正予算額(林業・木材産業国際競争力強化総合対策の一部) 450,000千円)

(" " "(花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策) 5,634,710千円の内数)

<対策のポイント>

林業イノベーションプラットフォームの構築・運営、林業機械の自動化・遠隔操作化技術や木質系新素材等の開発・実証、ICTの活用に向けた技術者育成やソフト等の導入、「デジタル林業戦略拠点」の構築等を支援します。

<事業目標>

- 自動化等の機能を持った高性能林業機械等の実用化（8件【令和7年度まで】）
- デジタル技術を地域全体でフル活用する取組の普及（デジタル林業戦略拠点が1つ以上ある都道府県数25【令和12年度まで】）

<事業の内容>

1. 林業イノベーションハブ構築事業 39,000 (39,000) 千円

イノベーションの推進に向けた支援プラットフォームの構築・運営等を実施します。

2. 戰略的技術開発・実証事業 70,000 (70,000) 千円

林業機械の自動化・遠隔操作化技術、森林内通信技術、木質系新素材等の開発・実証を支援します。

3. ICT活用推進対策

① ICT活用技術者育成事業 45,541 (-) 千円

ICT等先進技術を活用して資源分析や路網設計ができる技術者の育成等を実施します。

② ICT活用環境整備事業 43,299 (-) 千円

ICTを活用して資源調査や生産管理等の効率化・省力化を図るソフト等の導入を支援します。また、林地台帳を効率的に更新するツールの整備等を実施します。

4. デジタル林業戦略拠点構築推進事業 78,000 (78,000) 千円

地域一体で林業活動にデジタル技術をフル活用する拠点づくりを支援します。

<事業の流れ>

委託、定額、1/2

地域コンソーシアム、民間団体等 (1、2、3の①、②の事業の一部、4の事業)
※国有林においては、直轄で実施

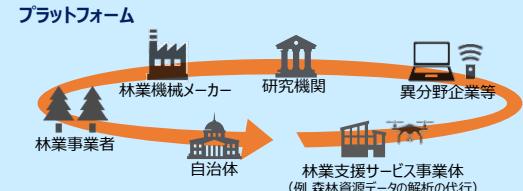
定額、1/2

都道府県 → **林業経営体等** (3の②の事業の一部)

<事業イメージ>

林業イノベーションハブ構築事業

- 林業事業者や異分野企業等が参画するプラットフォームの構築・運営
- 林業のデジタル化に取り組む地域への伴走支援
- 新技術導入に向けたルールづくりなどの環境整備



戦略的技術開発・実証事業

- 自動化技術、木質系新素材等の開発・実証



林業機械の自動化等に向けた開発・実証

スギを原料とする新素材「改質リグニン」の社会実装に向けた技術の開発・実証

ICT活用推進対策

- 技術者育成、ソフト等の導入、林地台帳を効率的に更新するツールの整備

技術者育成



小型UAVによる空撮



森林資源の見える化
(森林GISの活用)

ソフト等の導入



資源情報 地形情報

デジタル林業戦略拠点構築推進事業

- 「デジタル林業戦略拠点」の構築

森林調査、伐採・流通、再造林等へのデジタル技術の活用等

地域コンソーシアム



[お問い合わせ先] 林野庁研究指導課 (03-3501-5025)

戦略的技術開発・実証事業（拡充）

【令和7年度予算額 70,000（70,000）千円】

＜対策のポイント＞

林業の安全性、生産性及び収益性の飛躍的な向上や、日本固有のスギを活用する木質系新素材の社会実装に向けて、**林業機械の自動化・遠隔操作化技術、森林内の通信技術、木質系新素材等の開発・実証**を支援します。
森ハブ・プラットフォームに参画する企業の協業案件について、優先採択します。

林業機械の開発・実証

林業の安全性、生産性及び収益性の飛躍的な向上に向けて、以下の取組を支援

- 伐倒・集材等の素材生産や造林作業の自動化・遠隔操作化等に向けた林業機械の開発・実証、事業規模での実証・改良
- 森林作業の安全性・生産性の向上に資するソフトウェア・機器の開発・実証
- 森林内の通信環境の確保に向けた通信技術・機器等の開発・実証

素材生産分野における林業機械の開発・実証



伐倒作業の自動化・遠隔操作化



路網集材作業の自動化



架線集材作業の自動化

造林分野における林業機械の開発・実証



下刈り作業の自動化



植栽作業の省力化に資する電動機械

通信技術の開発・実証



自動運転機械の監視、データ通信等に必要な通信環境の確保

木質系新素材の開発・実証

スギ材を原料とする新素材「改質リグニン」の社会実装を促進するため、以下の取組を支援

改質リグニンの環境適合性向上に資する技術の開発・実証

- 改質リグニンを導入した、リサイクル可能な材料や製品の軽量化・長寿命化などに資する材料の開発・実証



改質リグニン

改質リグニンを導入した
材料の開発・実証

将来的な用途
(イメージ)

リサイクル性や軽量化・
長寿命化等環境負荷
軽減に資する材料



改質リグニン製造の副産物の利用技術の開発・実証



<利用イメージ>
・プラスチックへの添加
・家畜飼料、きのこ培地
・糖化発酵によるバイオ
化学製品 など

＜事業の流れ＞

国

定額

民間団体等

[お問合せ先] 林野庁研究指導課技術開発推進室 (03-3501-5025)